



『源氏物語』唐紙表紙・題簽（一部）

京都府立大学文学部＋京都府立京都学・歴彩館合同企画展示会

第五回 府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学

— 京都府立大学の学生・大学院生が企画した歴彩館所蔵古典籍・資料展 —

私たち京都府立大学文学部と京都府立京都学・歴彩館は、各種の授業連携を通じて、歴彩館所蔵資料の調査・研究・活用を行っています。この展示は、文学部の各学科と歴彩館のコラボレーションの成果を広く公開するものです。学生たちが歴彩館資料の豊かさを多様な角度から紹介します。どうぞお楽しみください。

会期

令和4年12月17日(土)～令和5年1月8日(日)

休館日 令和4年12月28日(水)～令和5年1月4日(水)

時間 11時～17時

会場 京都府立京都学・歴彩館1階展示室 ※入場無料

主催 京都府立大学文学部 京都府立京都学・歴彩館

問合せ先 京都府立大学 学務課文学部事務担当

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1番地5 Tel (075) 703-5117

日本・中国文学科

「源氏物語の伝本・研究・受容」をテーマとして、千年以上前に作られた『源氏物語』が、後の時代にどのような形で読まれ、学ばれ、楽しまれたかを、『源氏物語』関係資料を展示しながら紹介します。鎌倉時代から江戸時代までの『源氏物語』のさまざまなあり方を、日本・中国文学科の学部生・大学院生が紹介します。また作者紫式部の和歌も採られた『百人一首』の美しい写本も併せて展示します。



烏丸光広筆『源氏物語』の色表紙

欧米言語文化学科

「キモノと着物の間でー欧米人の見た京都の文化」をテーマに、欧米人の着物文化に対するイメージや西陣織の文様、金銀糸の世界など、着物産業についての資料を紹介します。



「ふきよせ」より

歴史学科

歴史館資料を活用する授業で学生達が取り組んだ研究テーマである「交通」に関する研究成果（三条大橋、保津川下り、淀川水運、奈良電気鉄道について）を発表します。交通に注目することで、京都とその周辺地域との関わり、さらには京都の歴史・文化・観光・流通などの特徴を紹介します。



『京都名所十景』 淀川

和食文化学科

京都の酒造りについて、『花洛銘酒鑑』を起点にして、江戸時代以降の歴史を概観する展示を行います。室町時代から江戸時代にかけて洛中には大変多くの酒造家がありました。それらが具体的にどこに、どれだけあったのか、近代になって伏見の酒造りが台頭するなかで、洛中の酒造家はどうなるのか。ダイナミックな酒造りの変遷をたどっていきます。同時に、江戸時代の酒造りを描いた絵図や絵馬も展示し、酒造りの工程を解説します。



『花洛銘酒鑑』

アクセス

- JR・近鉄京都駅、阪急烏丸駅から
京都市営地下鉄烏丸線「北山駅」下車（①出口）南へ徒歩約4分
- 京阪出町柳駅から
京都市バス1 府立大学前（北大路通）下車北へ徒歩約6分
- JR二条駅から
京都市バス206 府立大学前（北大路通）下車北へ徒歩約6分

会場へは便利な京都市営地下鉄・市バスをご利用ください。

